

IRIE

社内報いりえ
VOL.517

新年号

NEXT STAGE

established in 1910

会社方針

人づくりの推進



CONTENTS

- 02 社長年頭あいさつ
- 04 安全年頭所感/2024年 全社安全方針
- 05 第49回大分市自衛消防競技大会/JESCO・KEPS合同防災訓練
豊山八幡神社 創建1400年記念式典
- 06 八幡支店45周年記念企画
- 10 福岡銀行五島頭取 ご来社/POLLUTEC 2023
- 11 グッドカンパニー大賞/マレーシア環境・水省 響工場ご来場
昇降テーブルリフター納入
- 12 八王子商工会議所ご来社
地元中学生による入江社長インタビュー/社会人野球日本選手権
- 13 防災協会ボウリング大会/日本製鉄八幡フットサル大会
PCB事業部 秋季レクリエーション
- 14 ファミリー釣り大会/ラグビー順位決定戦/わたしたちのSDGs
- 15 あなたの職場紹介
- 16 新入社員FU研修/こんにちは赤ちゃん/新入社員紹介
- 17 組織人事情報/資格取得/慶弔
- 18 あなたの〇〇教えてください
- 20 2024年会社方針
内部通報制度について/編集後記



2024年 入江社長年頭あいさつ



社員ならびにご家族の皆様、新年明けましておめでとうございませう。皆様もご承知のとおり、私が社長に就任し、今年で2年目となります。

昨年を振り返ると、まずは経営ビジョンや方針を定め、社員の皆様への説明会を兼ねた対話からスタートいたしました。また、現場活動としてお客様訪問や金融機関との信頼づくりに努めてまいりました。一方、社内では昨年発足させた執行役員制など、プロパー社員の登用も含め業務執行体制を固め、「人づくり」にも力を入れてきた一年だったと思えます。

・本支店連携による安全監査の実施

② 未来につなぐための意識改革と「人づくりの推進」
 ・管理者層の意識改革推進
 ・本支店を含めた交流強化（社内イベントの企画実行による連携強化など）
 ・女性活躍推進

③ 社会に貢献する「技術開発の推進」
 ・技術統括部の創設
 ・環境・リサイクル関連の開発強化
 ・品質管理強化

④ 生産性向上と働き方改革に向けた「業務改革の推進」
 ・ビジョンの実現にむけた管理体制強化
 ・DX推進部創設による意識改革と働き方改革の推進
 ・技術統括部、営業統括部の創設など、全社横断的な組織づくり

⑤ コンプライアンス活動の推進と法令順守

・情報セキュリティの基本方針策定とセキュリティ対策の自己宣言
 ・インボイスや電子帳簿保存法など法対策の推進
 ・法務や内部統制など外部機関との連携強化

今後も「ビジョンの実現」にむけたそれぞれの活動を継続し、その成果を積み上げていくことに付加価値が生まれます。そして未来に繋がる大きな成果となります。

次に、スローガンとして今年度の会社方針について触れさせていただきます。

当社はこれまでの歴史のなかで、様々な逆境を乗り越えてきた結果として今日に繋がっています。そして、これからも不透明感が増すなかで我々はお互いを尊重し合い、知恵・ベクトルを合わせ、事業の発展に邁進しなければなりません。このような思いを込め、社長就任時に経営理念の改定をおこなっております。

最後に、皆様方におかれましては、2023年は激動する環境の中ではありませんが、2024年も健康で明るく良い年でありまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

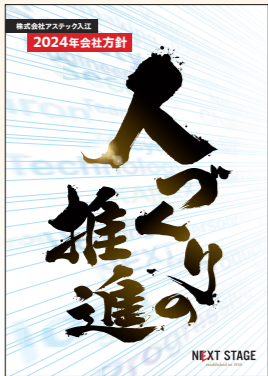
皆さん、ご安全に！

2024年 元旦
 株式会社アステック入江
 代表取締役社長 入江伸一郎

「私たちはお互いを尊重し、強靱なチームワークを形成することで個々人が持つ力を最大限に発揮できる風土の構築を目指します」

人は個性を持ち、それぞれの特長・強みがあります。お互いの弱さを指摘し合うのではなく、それぞれの強みを理解し、力を結集することにより、会社としての集団力が芽生えるものだと思います。そして、助け合う気持ちを持つことも大切なことではないでしょうか。

皆様と共にここを新たなスタートラインとし、次のステージを目指していくことを代表者として願います。



2024年度スローガンポスター

新スローガン「NEXT STAGE」における5つの「E」

NEXT STAGE
 established in 1910

- ・ Engagement (エンゲージメント) — 従業員への会社に対する愛情や思いをさす言葉「個人」と「組織」が対等とともに成長できる関係性
- ・ Empowerment (エンパワメント) — 個人や集団が本来持っている潜在能力を引き出すこと組織における自律性の向上、社員が持っている能力の発揮
- ・ Enhancement (エンハンスメント) — 強化、向上、改良、増進
- ・ Each other (イチョーアザー) — それぞれの、お互いの
- ・ Esteem (イステイム) — 尊重、尊敬、敬意

1. スローガンは「NEXT STAGE」

経営理念やビジョンの実現、そして未来を築いていくために、全員で力を合わせ、企業改革に挑む。未来にむけ、次のステージに挑戦することをスローガンとして掲げます。

勢いや力強さとともに情熱という赤い扉を開け、輝かしい未来へとみんなの力が一つに集まって進むイメージを表したロゴを作成しました。

2. 2024年会社方針は「人づくりの推進」

社の目指す未来・方向性を理解し、その方向性に向かって人財育成に努めていくこととします。

また、5つのビジョンを実現していくために業務目標を明確にし、ボトムアップ型・価値共創型組織への転換を図ることを目指します。そのために、上司部下の双方の対話を活性化し、縦横連携を高め、相互信頼の構築とイノベーションな組織形成に努めてまいります。

現在、当社は68中期経営計画の最終年度を迎えており、次中期経営計画の策定にいち早く取り組み、激変する経営環境に順応し、組織力強化を実現する中長期的な成長戦略を策定しております。

これから先も我々は「新生アステック入江」として力を結集し、課題に果敢に挑戦し続ける集団でありたいと考えております。そして、明日を目指す強い集団として、仲間意識を高めながら、人づくり



練習の成果を発揮



生産課混合チームの皆さん



10月18日(水)、「第49回大分市自衛消防競技大会」が5年ぶりに開催されました。大分支店は生産課各係の混合チームでエントリー。練習を積み重ねた結果、9月上旬に日本製鉄株式会社の代表として選出され、本大会へ出場することができました。

競技大会出場の結果は5位入賞。上位入賞には至りませんでした。今までの練習の成果を十二分に発揮し、自己記録を更新することができました。また、機敏な行動と大きな掛け声は、日本製鉄株式会社ならびに関係各社から賞賛の声をいただき、当社の評価向上にも大きく貢献できたと思います。さらに大分市自衛消防競技大会当日の夕方、テレビニュース放映時には、なんとメインで取り扱っていただきました。

さらなる防災活動の推進と自己記録の更新、上位入賞を目標に来年も出場したいと考えています。

(宮崎)

大分支店 第49回大分市自衛消防競技大会
練習の成果を十分に発揮



訓練に臨む大津作業長(左)

10月31日(火)、中間貯蔵・環境安全事業株式会社様および北九州環境プラントサービス株式会社様との合同総合防災訓練が実施され、私たち若松事業所の3交代A組は自衛消防隊として訓練に参加しました。

今回の防災訓練は、PCB処理最終年度という事もあり大幅に人員が削減された中での訓練であったため、個々の役割が今まで以上に重要なものとなりました。

練習の中で出た問題点や意見について本番までに消防隊長を中心に話し合いを重ね、より良い形で本番を迎えることができました。当日はイレギュラーな事態も発生しましたが、各自自衛消防隊がそれぞれの役割をしっかりと務め、緊張感のある防災訓練を行いました。

災害発生時には「人命が最優先されるべき事項」であることを念頭に置き、今回の訓練で得た気づきや経験を、更なる高みへ繋げていきたいと思います。ご安全に!

(大津)

PCB事業部 JESCO・KEPS合同防災訓練
対話を重ね臨んだ訓練

11月9日(木)、八幡東区の豊山八幡神社において行われた同社の創建1400年記念式典に入江社長が参列しました。

福岡の政界・経済界、同神社の奉賛会などから多くの方々が参列した同式典の祝宴では入江社長が締めめの挨拶を行いました。入江社長は挨拶で、神社の境内にある世界平和の願いが込められた祈願柱「ピースポール」に触れ、「ご参列の皆様と同様に、戦乱に揺れる現在の世界情勢に関する報道を耳にするたびに私は心を痛めています。ですが、そのたびにピースポールのことを思い出します。ポールに込められた世界平和の願いや、日本人の精神力や助け合いの心を次世代にも「つなぐ」ことが私たちにできることと考えます。心をつなぐ・笑顔をつなぐ・手をつなぎ協力し、地域の皆さんをつなぐ。この思いを次世代につないでいきましょう」とご参列の皆様呼びかけました。

当社は今後も同神社をはじめとする地域の皆様と共に思いをつなぎ、八幡を盛り上げていきたいと考えています。

(坂口)



創建1400年を記念して作られた「鉄のしめ縄」と写る入江社長

本社 豊山八幡神社創建1400年記念式典
入江社長が呼びかけた「決意」

安全活動の基盤強化と弱点克服活動の推進

全社総括安全衛生管理者 上席執行役員 安全環境防災部長 山地 清

ご安全に。社員・二次協の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の当社の安全成績は、休業災害が1件、危険予知不足等による軽微な災害が計7件発生しており、これを踏まえて、今年安全衛生方針についてお話しします。

1) 安全活動の基盤強化

管理者の皆さんにおいては、日頃から安全6則・禁制事項・標準順守活動について、現場第一線まで浸透・定着させるための活動に取り組んでいただいています。しかしながら、現場にはリスク潜在作業は、まだ残存していると思えます。管理者の皆さんは、現場に出て作業者と対話し、一丸となってリスクを抽出し、リスク低減対策(ソフト・ハード対策)を実行する事で、安全活動の基盤強化・骨太化を図っていきましょう。

2) 弱点克服活動の推進【安全活動のNEXT STAGE】

現状、当社で発生しているTBM・KY不足による軽微な災害は個々の行動に左右される点が多いように見受けられます。この対策として、作業員一人ひとりが弱点を抽出し、永続的に実行可能な取り組み項目を自ら考え実行する「弱点克服」活動をお願いします。そして、この活動を一人ひとりが自分のこととして考える力を養いましょう。

また、昨年より本社を中心に当社の弱点克服活動として着手しました「安全環境防災に強い人づくり」「こころとからだの健康」「鉄関連事業の安全レベルの更なる向上」活動を今年も継続して推進し、目に見える形にしていきます。

以上、種々の活動を実行していきますが、実行する上で基本は連携・対話です。本社-事業部間・労使間・管理者-現場間で連携・対話し、安全で健康な職場の実現に向けて、今年一年間、頑張ってください。ご安全に!

2024年 全社安全衛生環境防災活動方針

年方針 安全活動の基盤強化と弱点克服活動の推進

年目標 (1)休業災害「ゼロ」
(2)「こころ」と「からだ」健康活動の積極的推進
(3)環境・防災事故「ゼロ」

重点活動項目と具体的実施内容について

0. 確実な法令の順守

- ・労災かくし防止教育の継続と「現認者がまず通報」活動の確実な実行
- ・安全監査、業務連携等に活用し、関連法令のチェック機能強化

1. 安全活動の基盤強化と弱点克服活動の推進による安全職場の実現

- 1) 安全6則・禁制事項・標準順守活動の基盤強化による確実な実行(上位主体活動)
 - ・いかなる時も安全6則や禁制事項を厳守
 - ・管理者が現場に出て作業者と対話し、安全6則等のリスク潜在作業を一丸となって抽出
 - ・管理者はリスク潜在作業の改善に努め、リスク低減対策(ソフト・ハード対策)を実行
- 2) 自主自立的な弱点克服活動によるTBM・KY定着活動の活性化(現場第一線主体活動)
 - ・現場レベル(小集団)で自主自立的に安全上の弱点を考え、抽出
 - ・抽出した弱点に対し、作業員が永続的に順守可能な取り組み項目を、小集団全員で考え、実行
 - ・管理者は、取り組み項目に対し、自ら対話での定着状況を評価し、「フィードバック」する活動
 - 一人ひとりが自分のこととして考える力を養い、TBM・KY不足による災害を防止

2. 「こころ」と「からだ」健康活動の推進

- 1) モデル職場にて「こころ」と「からだ」健康活動の基盤づくりと推進
 - ・現状の健康活動に対して課題を抽出し、取り組み項目を決定し「できる事」から実行
 - ・本社関係先と連携し、会社として「人への投資」を積極的に実行
- 2) 5類移行後の新型コロナ・インフルエンザ感染防止対策の再確認と実践

3. 環境防災事故ゼロ職場へ向けた活動推進

- 1) 自主自立的な4S(可燃物・熱源排除等)活動実践をベースとして、職・作法の指導(6S実践)
- 2) 事故発生後の確実な初動実践のため、定期的作業演練の実施による感性的骨太化
- 3) 事業所間の連携力を活用しての種々対策の横展開(異常音防止対策、腐食対策等)

以上

作業の様子



History (Part2)

八幡支店の45年の歴史。1978年の開設以降、生産設備や諸先輩方が暑い日も寒い日も24時間365日、支店の、そして会社の成長を支えてきました。そんな屋台骨ともいべき現場の開設当初の様子を紹介します。

転炉滓処理場



脱硫場 (外観)



鋼整備場 (外観)



TD整備場



※写真の撮影時期(推定)はいずれも支店開設から3~4年以内

道 八幡支店45周年記念企画
~残す、伝える 八幡支店の歩み~

ご安全に! 八幡支店は2023年12月1日に開設45周年を迎えました。節目の50周年を5年後に控えたこのタイミングを好機ととらえ、5年後や10年後、そして更なる未来に向かって団結するべく、八幡支店の特別記事を制作いたしました。45年間の歴史を振り返り、今を見つめ、将来に思いを馳せながら支店一丸となって未来を築いていきましょう!

開設した1978年はこんな年
・新東京国際空港(成田空港)開港
・キャンディーズ解散
・「赤いきつね」販売開始
・映画の影響でディスコブームが巻き起こる

八幡支店・世の中
アステック入江の歴史

※赤色表記…入江の歴史

テレビ朝日で「ドラえもん」放送開始	1979	1st	1979	転炉滓・T鋼付帯作業・1TDS・TD整備場・鍋修理場・ISE作業開始
日本の自動車生産台数が世界一になる	1980	2nd	1980	整備工場、戸畑三製鋼工場内に竣工
「笑っていいとも!」放送開始	1982	4th	1982	2TDS・2CC操業開始
東京ディズニーランド開園	1983	5th	1983	八幡支店が当社内での売上No.1になる(約40億円/年)
セラミック事業所を開設しセラミック機械加工を開始	1987			
Jリーグが開幕	1993	15th	1993	電磁誘導加熱装置用TD整備作業開始 ORPスロッピング抑制設備完成
FM事業部八幡工場を開設し鉄粉・塩化鉄製造事業を開始	1994			
阪神・淡路大震災が発生	1995	17th	1995	溶銑鍋マグネシウム脱硫設備稼働 鍋脱S(Mg脱)設備稼働開始
FM事業部広畑工場を開設し塩化鉄製造事業を開始	1997			
20世紀最後の年	2000	22th	2000	TD整備場改造(1ST稼働による)→1ST用整備場新設
東京ディズニーシーやユニバーサル・スタジオ・ジャパンがオープン	2001	23rd	2001	KR鍋脱硫操業開始
本社移転	2002	24th	2002	LD-ORP関連作業開始
現在使用の紙幣が発行開始	2004	26th	2004	OGダスト分別改修設備稼働開始
北九州PCB廃棄物処理事業に参画	2008			
FM事業部において都市鉱山リサイクル事業を開始	2014			
Nintendo Switch発売開始	2017	39th	2017	3CC造塊滓処理開始
FM事業部都市鉱山リサイクルセンター響工場セラミックセンター響工場を開設	2020			
		45th	2023 12月	開設45周年を迎える

History (Part1)

八幡支店の45年の歴史。1978年の開設以降、幾多の困難を乗り越えながら成長を遂げてきた歩みを、世の中の出来事や、印象的な写真と共に振り返ります。

八幡支店Playback (思い出のシーン)



▲ 1980年代前半 新人研修中の場面
▲ 1983年 溶銑予備処理設備竣工式



▲ 1997年 防災演練 (同年7・8月号表紙)



▲ 1998年 支店開設20周年 式典中の場面
▲ 2023年 20歳のつと 式典中の場面

事務所外観 (①1990年代撮影 ②・③2023年10月撮影)



Now 八幡支店の「今」。支店を率いるリーダーの挨拶、そして今後も発展していくために取り組む今の姿を紹介します。

ご安全に!
many memories.
Thank you for
一人ひとりにドラマが起きて、沢山の思い出が詰まっています。八幡支店ですが、社員のみならず一人ひとりを大切に育てて行きたいです。Thank you for many memories.



八幡一筋42年 副支店長 梶原 秀樹

入社以来、八幡支店と共に歩んできた42年間、製鋼工場の連続製造工程の一部を担う起

ご安全に!
八幡支店 45周年を迎え、まずはお客様である日本製鉄株式会社様のご指導とご支援に深謝申し上げます。また、諸先輩方のご尽力と、従業員の皆様・協力会社の皆様との信頼を軸とした安全安定作業のおかげで、この記念すべき日を迎えることができました。あらためまして感謝申し上げます。

八幡支店は1978年12月戸畑の地に拠点を移し、創業当時から続く「信頼」を旗印に、新しい事を取り入れ、機械化・安全作業に取り組んで参りました。しかしこの間、順調なことからではなく、高炉休止、リーマンショック、新型コロナウイルス感染症拡大等、いくつもの危機に直面しました。しかし都度、皆様と鉄の絆で繋がった熱い連携力を発揮し乗り越えることができました。

今後カーボンニュートラルの潮流に合わせ、更なる進化の時代が到来しています。我々は次の10年、次の100年に向け、不断の努力を惜みず、お客様と社会の負担に配慮することを誓い、45周年記念の挨拶と致します。ご安全に!



上席執行役員 八幡支店長 吉野 寛

ご安全に!
八幡支店 45周年を迎え、まずはお客様である日本製鉄株式会社様のご指導とご支援に深謝申し上げます。また、諸先輩方のご尽力と、従業員の皆様・協力会社の皆様との信頼を軸とした安全安定作業のおかげで、この記念すべき日を迎えることができました。あらためまして感謝申し上げます。

開設45周年式典



12月5日(火)に45周年式典を実施。山下さんのパッチリ合唱で一致団結しました。

ファミリー釣り大会



社内報記事がきっかけとなり、11月19日(日)にファミリー釣り大会を開催。仲間同士で競い合い、親睦を深めました!(詳細は14ページの記事にて)

支店長対話

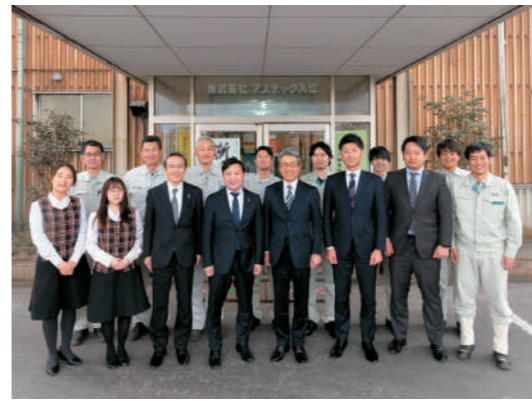


少しでも働きやすい支店にするべく、支店長対話を実施。意見を交換し、語り合いました。

製鋼工場を見学いただきました

本社・八幡支店 福岡銀行五島頭取ご来社

12月1日(金)、(株)福岡銀行 取締役頭取の五島様、八幡支店長の吉田様(他5名)にご来社いただき、日本製鉄(九州製鉄所八幡地区)内にある弊社八幡支店の工場見学を実施いたしました。今回の企画は、FPGビジネスコンサルティング発行の「FPG調査月報(新年号)」の取材も兼ねており、五島頭取様、吉田支店長様と入江社長によるTOP対談も織り込まれました。製鋼工場のご見学は、鉄づくりの製造工程の一つである転炉工程や転炉等で使用する鋼を補修する鋼セクター、転炉で発生した不純物を処理する転炉滓処理場をご案内いたしました。見学後には五島頭取様より「製鉄所の協力会社の中でも要となる工程を担い、確かな信頼を著実に積み重ねながら100年企業として発展してこられました。そ



前列左3人目から水城取締役、入江社長、五島頭取、吉田支店長(福岡銀行)

の鉄事業で培ってきた技術により、現在では都市鉱山リサイクル事業をはじめとする「環境・リサイクル事業」でも注目を集められており、今後も北九州のものづくりをリードされることと確信しています。「NEXT STAGE」の新スローガンのもと、挑戦を続けるアステック入江のますますの飛躍を期待しています。』とお言葉をいただきました。今後も福岡銀行様のご支援をいただきながら、さらなる会社の発展に努めてまいります。(野畑)



対談の様子

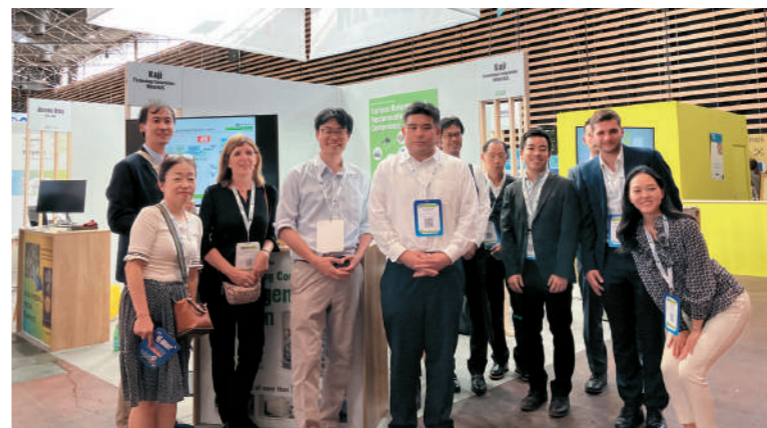


工場見学の様子

フランスの地でリサイクル技術をPR

営業統括部 POLLUTEC 2023

10月10日(火)〜13日(金)まで、フランスのリヨンで開催されました「POLLUTEC 2023」(来場者数5.1万人)に出展し、都市鉱山設備をメインにPR活動を行いました。本展示会は、リサイクル・リユース、廃棄物管理など環境関連の業界プロフェッショナルが集うイベントで、有識者から当社の都市鉱山リサイクル技術が欧州地域でのニーズがあるとの提言を受けJETRO様のご支援をいただきながら、参加することになりました。

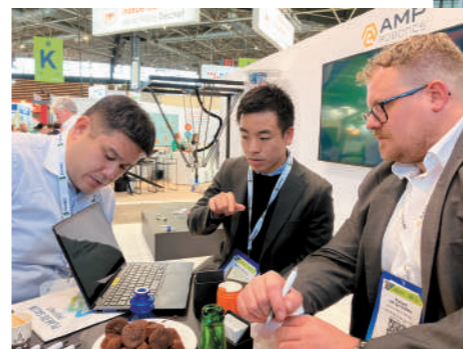


異国でのチャレンジは収穫が多いものとなりました

当社は他社と比較して、決して目立つブースではなかったのですが、想定を超える来客で、展示会は大盛況で終了しました。展示会を通じて、当社のリサイクル技術は欧州及び周辺国でも珍しく、具体的な商談を各国からいただくことで、海外展開の大きな可能性を感じました。現在、具体的な商談を頂いた会社と個別フォローを適宜行っております。得たチャンスを確実にものにして、今後の展開へと繋げて参ります。(小森)



▲展示会会場(フランス・リヨン)



◀海外企業へ当社技術の魅力伝える

FM事業部 第57回グッドカンパニー大賞に選出されました

優秀企業賞

11月29日(水)、公益社団法人中小企業研究センター様より、第57回「グッドカンパニー大賞」が発表され、表彰企業17社中「九州・沖縄地区 優秀企業賞」で当社が選出されました。

同賞は、中小企業の振興を図るため、経営の刷新、技術開発などに優れた成果を上げている中小企業を発掘・顕彰する制度で、1967年に創設されたものです。

今回の受賞は、9月27日(水)に行われた2次審査(社長インタビューおよび工場見学)を経ての受賞となりました。ご対応いただいた皆様、ありがとうございました。今後もより一層秀でた結果を出し、社会に貢献できるように精進してまいります。

なお、表彰式は2024年2月1日(木)に都内で開催されます。



響工場工場見学の様子



説明を行う古西工場長

FM事業部 マレーシア環境・水循環局の工場見学実施

都市鉱山リサイクルを世界へ

9月21日(木)アミタ様(株)様がマレーシアでジョイントベンチャー(JV)しているBETAグループ様及び、マレーシアの環境省様が来社されました。当日は、都市鉱山リサイクルに関するプレゼン及びPV(英語版)で説明後、化学実験や都市鉱山工場を見学頂き、当社の技術に興味を持っていただきました。

BETAグループの方は都市鉱山に関する質問が多数ありました。また、アミタ様の担当者からは「東南アジアでのニーズを確認したい」との事で本社工場への期待が伝わってまいりました。

アジアおよび世界へ、都市鉱山リサイクルが広まっていくことに期待し、当社が技術的な面でサポートできたと感じております。

※BETAグループ：不動産投資開発、宝くじ、金融(損害保険)、飲食業、旅行産業、ホテルやリゾートの開発運営を行う。グループ従業員1万7千人、年商約4,000億円。



記念撮影



プレゼンの様子



工場見学の様子

本社 昇降テーブルリフター納入

設備部と協力しての案件

8月31日(木)、日本製鉄株式会社北日本製鉄所室蘭地区構内の大和工業株式会社様に「昇降テーブルリフター」2台を納入いたしました。本製品は、大和工業様が日本製鉄様から委託を受けて購入元となり実際に現場で使用されます。当該テーブルリフターは溶鋼鍋・溶銑鍋の内面耐火物施工や鉄皮補修時に使用する装置で、日本製鉄機械技術室様やメーカーとは当社設備部が昨年からは仕様打合せを繰り返し行ってきました。納入後の9月5日(火)に設備部とメーカーが現地試運転調整と操作・メンテ教育を実施、問題なく無事完了し、現在現場で使用していただいております。設備部と協力して進めていくこのような案件を今後も獲得し、会社に貢献できるよう取り組んでまいります(八木)



昇降テーブルリフター



納入作業

工場見学を実施しました

11月10日(金)、当社とお付き合いのある石井化学産業(株)様が幹事を務める八王子商工会議所工業部の方々に、ご来社いただきました。タイトなスケジュールの中、当社にて概要説明後、日本製鉄(株)九州製鉄所八幡地区(車中見学)、響工場を見学していただきました。

九州製鉄所構内の見学は、滅多に見ることができない工場ということもあり、スケールの大きさに興奮されているようでした。また、響工場においてはAI選別機の稼働の様子を見学したり、当社製作のリサイクルメダルをかけて記念撮影するなど、皆様から大変ご好評をいただきました。

当社とは異業種の方ばかりで、短時間の中で内容をご理解いただくのに苦労しましたが、引き続き、このような機会を重ねていきながら、今後の幅広いネットワーク構築に繋げていきたいと思います。

(小森)



メダルをかけて記念撮影

熱心に説明を聞かれていました

今年も響工場です！

本校 地元中学生による入江社長インタビュー

10月26日(木)、響工場において九州国際大学付属中学校の1年生3名が入江社長へインタビューを行いました。この企画は、同中学校の進路体験学習の一環として一昨年から実施されています。今年も例年と異なり、本校ではなく響工場で行いました。まずFM事業部の都市鉱山リサイクル、セラミックス事業所の作業工程を見学したのちに、入江社長へのインタビューを行いました。インタビューでは、生徒の皆さんから緊張しながらも、様々な質問をいただきました。特に、金の回収についてお金の話が出た際の、生徒さんたちの金にも負けない輝いた表情が印象的でした。

今回質疑応答だけでなく、実際に現場を見学することで、「仕事」や「お金のこと」について知る良い体験になったと思います。今後もこのような機会を通じて、将来を担う生徒の皆さんへの力添えができればと思います。

(大嶋)



入江社長と中学生の皆さん

金のリサイクルに興味津々な様子

夢の全国大会出場

光支店 社会人野球日本選手権大会

11月12日(日)、第48回社会人野球日本選手権大会に出場した日鉄ステンレス硬式野球部はHonda(埼玉)と京セラドーム大阪にて対戦しました。光支店黒田君は、5番ファーストで出場しました。30年ぶりの全国大会という大舞台への出場とあって、光支店からは総勢9名の応援団が駆け付け、様々な応援グッズで声援を送りました。応援席も2000人を超す大入り状態で、手に汗握る試合展開となりました。6回まで敵投手がノーヒットノーランの快投、黒田君の気持ちの良いヒットなど見どころ満載で息詰まる大接戦でしたが、0-2で惜敗しましたが、選手達も全国での戦いを経験し、さらなる飛躍に期待大です。

(古川)

応援団のみなさん



京セラドーム大阪で行われました

打席に立つ黒田選手

ボウリングを通し同期との仲を深める

同期との仲を深める

10月20日(金)、北九州市防災協会八幡支部主催のボウリング大会が開催され、本年度は本社から新入社員8名が参加しました。当日は熱気があつつもどこか和やかな雰囲気の中で始まり、桑野主幹にも応援に来ていただき皆張り切って臨みました。しかし、全員ボウリングは久しくプレイしておらず、また他社からの参加者の中には日頃から練習していると思われる実力者もいて上位入賞は果たせませんでした。それでも表彰式で行われた抽選会では2名が当選して賞品を持ち帰ることができました。なにより、参加者全員がお互いに声を掛け合い楽しみながらプレイでき、今大会の「スポーツを通して親睦を図る」というテーマに合致した有意義なものになったと思います。

(有吉)



津田さんの躍動感あふれる投球



同期との仲が深まりました

チームワークで勝ち取った勝利

チームワークで勝ち取った勝利

10月21日(土)、フットアイ・小倉コートにて行われた第11回日本製鉄八幡フットサル大会に、本社と八幡支店から3チームが参加しました。

今回は3チームともチームワークが光り素晴らしい成績を収めました。前回のふれあいフットサルでは不調だった本社チームと、対照的に好調だった八幡チームは両チームともに2戦2勝。本社・八幡混合の経験者チームは、1戦目は先制されましたが終了間際に同点に追いつきドローで試合終了。その後、勝者をじゃんけんで決めることになり、予選敗退しましたが、2戦目は予選敗退を引きずることなく見事勝利し、3チーム通算5勝1分の好成績で終わりました。試合終了後には当社の幹事から、当社選手内のMVPや得点王に記念品が贈られました。前回同様、今回も大変盛り上がった素晴らしい大会になりました。

(真鍋)



痛恨のじゃんけん…



素晴らしい成績を収めました

お客様・社員・ご家族でエンジョイ

お客様・社員・ご家族でエンジョイ

11月12日(日)、グローバルアリーナ(宗像市)にてレクリエーションとしてバーベキューを実施しました。当日は北九州環境プラントサービス株式会社様より熊谷操業総括部長と熊谷熱プロセス課マネジャー、そして社員のご家族の方もお招きし、総勢20名での開催となりました。

レクが始まると、参加者の皆さんは Grill から火が高くなるほど次々にお肉を焼き、それをビールやハイボールと共に味わいながら、仕事の話や世間話で大変盛り上がり上がっていました。「楽しかった」との声が多くあがったように、レクは終始笑い声が絶えず、寒空を吹き飛ばす程のにぎやかな会となりました。

事業閉止に向けてラストスパートという中、今回レクを実施したことで事業部内の絆がより深まりました。深まった絆で事業部一丸となり、PCB処理完遂に一所懸命取り組んでいきたいと思えます。

(坂口)



エンジョイバーベキュー



吉松作業長のお子様無我夢中に食べました!



楽しいひと時でした!

八幡支店 ファミリー釣り大会
大物を狙え!

11月19日(日)、北九州市若松区の脇田海釣り棧橋で八幡支店主催の「ファミリー釣り大会」を開催し、ご家族を含め50名以上の方が参加しました。

天候は晴れでしたが、風が強く波もあり、絶好の釣り日和とはいえませんでしたが、そんな中でも皆さん大物を狙い、主にアジやメジロ、フグが釣れていました。大会順位は、魚のサイズで決め、見事1位に輝いたのは金城工業の金城正末さんのアジで24cmでした。

また、今回はキッチンカーを呼んで、唐揚げとフライドポテトを準備しました。とても好評で皆さんおいしそうに食べていました。初開催のイベントで不安な点が多かったですが、皆さんの笑顔を見ることができて良かったです。(古川)



吉野支店長より表彰を受けました

本社 日本製鉄八幡ラグビー部リーグ順位決定戦
全国大会出場決定!

トップキュウシュウリーグの戦いに臨んでいた日本製鉄八幡ラグビー部は、既報のとおりリーグ戦を2位で終え、11月の順位決定戦に挑みました。結果は25日(土)のルリー口福岡(1位)戦では敗れたものの、19日(日)の安川電機(3位)との試合に勝利したことで最終順位が2位となり、全国大会である*3地域リーグへの進出が決定しました。大嶋選手(本社)は2戦とも後半途中から出場。ルリー口戦では、無念の負傷交代となった安川電機戦のうつぶんを晴らすように終始力強いプレーを見せてくれました。大舞台に立つ八幡ラグビー部と大嶋さんには、ぜひとも「アレ」を目指して頑張ってください。(坂口)

※3地域リーグの初戦は12月24日(日)埼玉で開催。



大嶋選手と応援に駆けつけた平塚さん(左)、真鍋さん(右)



SDGs推進プロジェクト

vol.11

わたしたちのSDGs



各事業部の活動紹介 ⑦ FM事業部

当社におけるSDGs活動について各事業部より報告しております。今回はFM事業部における取り組みを紹介いたします。

FM事業部 Astec Systemの導入拡大

当社都市鉱山リサイクルの特徴は基板を破碎せずに、はんだを溶融させて基板に実装されている電子部品を剥離し、その電子部品を種類毎に選別できることにあります。この剥離・選別技術は環境省の実証事業を通じて、従来技術よりも省資源並びに経済効果を有する技術として、環境省より高い評価を得ています。国内外からも注目されており、基板から電子部品を剥離するHS(ヒートセパレーター)は国内で3社導入実績があり、好評を頂いています。現在は、金の回収が特に着目されておりありますが、基板には金以外の貴金属や日本で採掘できないレアメタル、ベースメタルが含まれており、資源備蓄の観点から基板のリサイクルは今後も重要となります。

Astec Systemは電子部品を種類毎に選別することで、電子部品に含まれる各種金属を効率よく回収できる装置です。このような技術を今後も国内外へアピールしていきたいと思っております。(古西)



ヒートセパレーター
(基盤のはんだを溶かし、部品を剥離する装置)



Aセレクトター
(画像認識を使用したAIによる部品選別装置)